

一般体育におけるダンスの意義

福 原 麻 子

(体育研究室)

The Significance of Dancing in General Physical Education

Phy. Educ. Dept.

Asako FUKUHARA

「ダンスはその人の心なり」ダンスは我々の思想感情を詩のように絵のようにまた音楽のように表現するものである。また芸術の面というならば絵は色で表わされ音楽は音で表わされ詩歌は言葉で表わされる。一方ダンスはその媒介とするところが身体の動きである。しかもその動きには表情が必要でありよき表情があつてこそよき舞踊(ダンス)となると戸倉ハル女史は述べている。ダンスは動きそのものを楽しむ活動でありその活動にはバレエ、民踊、フォークダンス、モダンダンス、日本舞踊と種々のダンスが生活の中で人々に共有されながら伝えられている文化の一つである。ダンスは明治の初年から学校で行われ歩み出してから各時代の社会的事情やいろいろな名称と内容をもって移り変わり受動的な作品の模倣から能動的な創作活動へと一大転換をしたのである。ダンスが新しい教育理念にもとづき自由な表現活動に導入されて30年経った今日ダンスが教育の場に果す役割には多くの問題が残されているその一つに「ダンス嫌い」と云うことである。高校時代のダンスの歩みを通じて本学学生は一般体育の内容としてダンスをどのようにみているかを検討してみたい。

目 的

本学学生が一般体育の内容としてどんなダンスを望んでいるかを把握することによりダンス指導の指針と

したい。

方 法

調査対象 被服学科一年129名 食物栄養学科134名
音楽学科84名 計 347名 (93.3%)

調査期間 昭和54年6月下旬～7月上旬に質問式アンケートで内容は下記の要領で実施した。

ダンスに関するアンケート調査
適当な方に○印をつけて下さい。

1. 一般体育の内容としてダンスを行うことに意義
あ る。
な い。
2. モダン(創作)ダンス経験高校時代に
あ る。
な い。
3. モダンダンスは
好 き。
嫌 い。
4. モダン(創作)ダンスをやった人について
好きだった人の理由に○印をつけて下さい。
 1. グループで協力してできたのが嬉しかった。
 2. 動きに規制がないので楽しかった。
 3. 苦勞して出来上った時の気持は格別
 4. その他の理由 ()嫌いだった人の理由に○印をつけて下さい。

1. よい動きが浮かばない。
 2. 恥しくてつくるのが嫌い。
 3. 身体を動かすより話会いが多すぎる。
 4. その他の理由 ()
5. 習得したいダンスを三種目に○印をつけなさい
1. モダン (創作) ダンス 2. 既成作品 (ダンス)
 3. フォークダンス 4. 社交ダンス 5. バレエ
 6. 民踊 7. ジャズ・ダンス 8. リズム運動
6. ダンスの将来をもつ意味
1. 社交性を高める 2. レクリエーション 3. 美容と健康 4. 体力維持増進 5. リズム感を養う。

結果及び考察

一般体育の内容としてダンスを行うことに「意義ある」とした学生は41.0%「意義ない」としたのは59.0%であり約3分の2の学生は意義はないとしている高校時代のダンス経験をみてみるととくにモダン (創作) ダンス「経験あり」は80.2%「経験なし」は19.8%である又モダン (創作) ダンスの好きだった学生は16.1%、嫌いだったのは83.9%と好き嫌いが大きくはっきりわかれているその理由をみてみると好きだったものはグループで協力し苦労して創作が出来上った時の嬉しい気持は格別と、嫌いだったものにはよい動きが浮かばない恥しくてつくるのが嫌いだった身体を動かすより話会が多い等が理由となっている。

ダンスの好き嫌いについてみると、例へばフォークダンスは好きだがモダン (創作ダンス) ダンスは嫌いだという場合が非常に多い、モダン (創作) ダンスは思想感情をリズムカルに自由に表現活動していく一方フォークダンスは一つの文化財であるから踊りも音楽もパターンも固定しているから踊りやすいレクリエーションとしても親睦の目的は達せられるがダンス本来の人間の美の追求する情操教育には役立たない面がある。モダン (創作) ダンスは創作する過程において思考の時間がかかる体育授業以外の時間が必要となるとアンケートによる理由を含めてどうしてもダンス嫌いにつながってくるのではないと思われる。

現在本学のダンス同好会に八名所属している彼女達

に参考までにダンスの歩みについて聞いてみた。驚くことに授業以外ダンス経験はなく又中高時代共にクラブがなかったとのこと、短大に入って今迄なかったクラブをやってみたかったことと授業でやったダンスが楽しかったからと答えがかえってきた。

(球技3名, 新体操1名, 剣道1名, その他3名)

大学で一般体育の内容としてダンスを行うのに適当だと思う希望ダンスを三種目あげさせた学科別に表1の通りである。

表1 習得したダンス三種目を選ぶ

	被		食		音	
モダン (創作) ダンス	27	7.5	9	2.6	15	6.8
既成作品ダンス	19	5.3	28	8.1	14	6.3
フォークダンス	86	23.7	81	23.3	53	24.0
社交ダンス	87	24.0	86	24.8	41	18.6
バレエ	19	5.3	23	6.6	32	14.4
民踊	15	4.1	20	5.8	14	6.3
ジャズダンス	59	16.3	58	16.7	33	15.0
リズム運動	50	13.8	42	12.1	19	8.6
計	362	100%	347	100%	221	100%

いずれも三学科共社交ダンス、フォークダンス、ジャズダンスに集中しているとくに社交ダンス・ジャズダンスは大学までにほとんどやっていない種目だけに興味と習得したい希望をもっているようだ。最後にダンスが将来の日常生活との関連でどのような意味をもち機能を果たすかをみたのが表2である。

表2 ダンスの将来をもつ意味

	被		食		音	
社交性を高める	25	18.1	12	9.8	9	13.9
レクリエーション	50	36.2	58	47.2	16	24.6
美容と健康	18	13.0	17	13.8	13	20.0
体力の維持増進	6	4.4	4	3.2	1	1.5
リズム感を養う	9	28.3	32	26.0	26	40.0
計	138	100%	123	100%	65	100%

表2によると被食学科共にレクリエーションを第一にあげ音楽学科はリズム感を養うを第一にあげているそ

れぞれ学科の特徴が出ているのが面白い。

ま と め

一般体育の内容としてダンスの意義はないとしているが大学でダンスをおこなうとすれば適当な種目として、社交ダンス、フォークダンス等を希望としてあげているそしてダンスの将来の意味としてレクリエーションと社交性を期待している。希望種目を受講させることによって如何に楽しいダンス活動を誘導していくかが今後の課題として検討していきたい。

参 考 文 献

- 戸倉 ハル 学校ダンス第二集 1954
 川村 晴子 一般体育におけるダンスの意義 第30回
 日本体育学会論文集より 1979
 中島 花 わが国におけるダンス（リズム運動）の
 移り変り。学校体育 6月号 1966
 神野 寛 ダンスにおける表現指導の体育的意義
 学校体育 6月号 1966
 斉藤千代子 生徒はなぜダンスを嫌うのか 学校体育
 6月号 1966

Summary

Being based to the new educational idea, dancing has been introduced into free expressing activity. And 30 years have passed since then.

But many problems have been left to carry out Dancing into educational field. One of the problems is "DISLIKING DANCING". So, from the students' experience in high school, I discussed with the students what they thought regarding to dance as a subject of general physical education.

Conclusion of the Inquiry:

It is apt to be thought that as a general physical education, it is nonsense to have dancing at university. But as a suitable subject, social dance and folk dance are requested. So giving lectures on requested subjects, which are recreation and sociability, will lead them to a pleasant dancing activity. And this is the guiding principle for the problem hereafter.